

♪ シニア便り ♪



第 10 号 (2007年1月発行)

発 行 北海道シニア吹奏楽団 事務局

編 集 『シニア便り』編集部

新入団員からのあじけつ

『吹奏楽と私』

アルトサククス 内田 りえ子

楽器は小さい頃から、なぜかいろいろ試しています。サククスは、相次ぐ引越で子供や仕事と離れ、富士山の麓で50歳を迎えた時、叫ぶ代りに吹きたくなりました。今度こそ10年頑張り、60歳までにもにする、と計画して元氣になり、仕事も在宅で再開しました。

ところが、中古のサククスが届くと、想像以上に大きな音で困ってしまいました。しかも重くてカラオケへ行くにも一苦労、更にもなく札幌へ転勤、永住を決めてまた転居、5年に4度の引越しと、増える仕事で疲労困憊。とりあえず手近な音楽教室に入り、そのまま2年過ぎました。

その間、楽器を落として修理に出すと、「この楽器に修理は無駄」と言われました。納得できず整備してもらいましたが、代わりに借りた楽器で、機能の違いを思い知らされ、ふらふらとセルマーを購入、散財してしまい、新しいうちに吹き込まなければ鳴らなくなると言われているのに、時間も場所もなく、焦りました。それに10年計画もさっぱり進まないまま、時間だけが経っているのです。

それで、以前見たシニアのHPを再検証、遠いけれど、ここなら月に一度しか行けなくても3時間吹けます。「吹奏楽経

験者」という条件に厳しさを感しましたし、疲れ切った姿で出かけるのも憂鬱でしたが、切羽詰った気持ちで、氣力を振り絞りメールを出しました。ですから、暖かい響きのお返事を受け取った時はとても嬉しかったです。

そして、とにかく音を出せば、と考えていたのに、見学の日から、本場の指揮者の下で、生の金管とクラリネットに挟まれて音を出す、という思いがけない驚沢を味わう事になりました。若い時に徹底的に練習されたり、職業とされた方々まで居られ、バランスの取れた演奏をなさる方たちの中で、上記の事情で無遠慮に大きな音を出させていたでいます。皆さん優しい方ばかり、札幌で、音楽の話題でビールを飲む楽しみも表現しました。

演奏会のことは、よく考えもせず、腹式呼吸も身に付かず、運指も仕事を減らして毎日パコパコ練習をしても、ついに間に合わない状態を出させていた。だきました。それは、夢のような経験でした。40数名もの生の音と本気で合奏するのは、一人カラオケであっても無く吹くのはあまりにも違います。そして、それまでの3か月も夢のように感じられました。

ある練習時、ふと気付くと中村先生が、まるで動かない大きな車を押し続けるような苦しい表情で、渾身の指揮をなさっておられたので、有難さで一杯になりました。そして、このような特別な車を作

り荷物を積んで、ここまでの道のりを進んで来られた団長と団員の皆様にも、尊敬と感謝の気持ちで一杯です。暗くなつた山道でやつと拾われた思いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

『トロンボーンと私』

トロンボーン 池田 あみ

2年休団し何とか復帰。去年は3度目の定期演奏会出場でした(氣付けば入団して5年も経っていました)。

去年の定演は、私が経験した3度の中で一番ハードだった気がします。しばらく休んでいたせいも、曲が難しかったのか、年をとったせいも。最後の方は、楽器を支えているのも辛かったです(泣)。体力維持のためにも続けていかなきゃダメですね。

いつものことながら練習不足で、本番にようやく吹けるようになった部分も、まだまだ足りない部分も。3人のトロンボーンパートのおじさま達に助けられ、シニアの皆様のおかげで、何とか終わらせることができたという感じです。トロンボーンソロ、かつこ良かったです！ 私の目標は、まずは「トロンボーンの音」が出せるよう頑張りたいと思います。いろいろありました。息子の声

がホール中に響き、スミマセンでした。私が楽器と出会ったのは、小学校3年の終わりでした。まずは全員トランペツ

トでの音出し。音がなかなか出なくて落ち込む日々。4年生ではホルンを、ほとんど指使いも覚えないうちに転校、空いていた楽器がトロンボーンでした。スライドを動かして吹くのが面白くて、ただ吹いていました(笑)。

中学校では、半年ほどユーフォoniumも吹きましたが、やはりトロンボーンを。ジャズバンドも編成され、力の入った部活でしたが、下手パートでいつも指摘され、クリニックにも通わされたりしていたんです。その後また転校、吹奏楽部が無く、社会人バンドに入っていた時期もありました(そこに大学生の近藤さんがいました!!)。

しばらく音楽から離れていましたが、中学時代に一緒だった畠山さんの誘いでシニアの演奏会に行かせていただき、またやりたい気持ちが湧いてきて、この世界に戻ってきました。楽しそうな雰囲気、ステージからとても良く伝わってきていました。

このように、トロンボーン人生は結構長いのですが、あまりパツとしない私ですが、どうか今後とも末永くよろしくお願ひいたします。

いろいろな方が自由に集い、下手でも見捨てられないシニアが好きです。

『第2回シニアパークゴルフ大会報告』

クラリネット 林 重男

毎月の親睦飲み会は、7月例会をパークゴルフとジギスカンをセットして7月22日、南区藤野一エルクの森パークゴルフ場で開催いたしました。昨年に引き続き同じ場所で、2度目のパークゴルフです。

土曜日の午後2時30分の集合に中村先生をはじめ9名のメンバーが集まり、青空の下、色とりどりのボールを追って、緑の芝生の上で思い切り手足を伸ばし、思いのとおりには転がらないボールに遊ばれながら右往左往、ナイスプレーに拍手と歓声で応え、動き回って気持ち良い汗をかきました。

ホールアウトの後は、ジギスカンとビール、ソフトドリンク、おにぎりに舌鼓を打ち、プレーを振り返って笑いとおしゃべりに楽しいひと時を過ごしました。最後に成績発表でまたひとしきり盛り上がった後、中村先生の首頭で乾杯し、来年も屋外青空定例会をやるとうい氣勢をあげて無事終了しました。下記の表は当日の成績です。

氏名	アウト	イン	合計	ハンデ ^{加減}	順位
中村	51	40	91		7
阿部薫	48	43	91		6
林	35	29	64	77	3
三浦	40	36	76		2
阿部勝	45	39	84		4
志甫谷	43	44	87		5
勘米良	38	33	71		1
菊田	57	41	98		8
鳥山	63	48	111		9

チューニング広場

第13回定期演奏会

開催結果報告

去る12月3日の練習日に、第13回定期演奏会の開催結果が三浦実行委員長より報告されました。報告された内容のうち、主なものを以下のとおりお知らせします。

- ・ 定期演奏会の来場者は327人で、このうち100人からアンケートの回答が得られました。
- ・ アンケートのコメントの多くは、団に対する励ましの言葉や、感心の声でした。
- ・ 入場券は453枚が売れていましたが、来場者との差し引きでは126人が来ていなかったことになり、少々残念な結果でした。
- ・ 今年の定期演奏会は、札幌市立旭小

入団希望者の取り扱いに関する役員会からの連絡事項

学校との共演でしたが、これは昨年まで共演していた宮の森小学校が、学校行事と定期演奏会の日が重なり出演が不可能となったことによるものです。

収支は、収入41万5千円・支出30万円・11万5千円の黒字でした。詳細は、事務局でまとめて後日報告します。

役員会では、入団希望者の取り扱いについて協議し、決定した事項を12月3日の練習日に団員の皆さんにお知らせしたところですが、その内容について再度お知らせします。

- ・ 各パートはあらかじめ必要な人数枠を決めておき、入団希望者があつた場合はその範囲内で見学を可能とします。
- ・ 入団希望者の見学を認めるかどうかについては、パートリーダーを中心にパート内部で協議の上、決定します。
- ・ 入団希望者の見学後、パート内で協議の結果、入団が可能と判断された場合は、さらに役員会で協議し、認められた場合は仮入団の扱いとなります(仮入団者は団員と同じ規約上の資格を有します)。

・ 仮入団から3か月後に、正式に入団となります。

第14回定期演奏会の実行委員が決まりました

今年10月21日の第14回定期演奏会に向けた新たな実行委員会のメンバーが次のおり決まりました。すでに大部分の選曲を終えているとのこと、すでに試奏に入っている曲もあります。

曲目・曲順や諸準備などの詳細は、今後発行される実行委員会便りでお知らせする予定です。

第14回定期演奏会実行委員会

実行委員長 林 重男
実行委員 阿部 勝
阿部 薫
石井 邦紀
島田 治子
高橋 章子
田中 綾子

15周年記念事業準備委員会が発足しました

平成5年に結成された北海道シニア吹奏楽団は、来年の平成20年に15周年を迎えます。

- ① この記念すべき機会に、これまで育まれたシニアの響きを披露する演奏会。
- ② これまで支えていただいた方々

に感謝することを主とした祝賀会。

- ③ これまでを顧みられた団員の感慨や、これまでの功績を記録した記念誌の発行。

の3つからなる記念事業の実施について、発起人から役員会に対して諮ったところ、準備を進めることへの了承が得られたことから、左記のとおり準備委員会と各部署が組織されました。

準備委員会および各部署の現時点でのメンバーは、以下のとおりです。

◎準備委員会

相談役 林 正輝
委員長 中村 暁生(発起人)
委員 勘米良 二天生(発起人)
古川 亨
前谷 浩市
山田 光国
吉田 和夫(発起人)
渡辺 順三
高橋 章子

○演奏会部会

代表 勘米良 二天生
委員 久光 秀樹
村山 幸恵

○祝賀会部会

代表 山田 光国
委員 島田 治子
松浦 弘

○記念誌部会

代表 古川 亨
委員 近藤 学
志南谷 修

※ 準備委員会と各部署は、平成20年度よりそれぞれ実行委員会に移行します。

親睦会のお知らせ

毎月恒例の呑み会です。日程は次のとおりです。気軽にご参加ください!

- ・ 詳細は幹事よりお知らせします。
- ・ 参加申し込み、問い合わせは幹事までどうぞ。
- ・ 4月以降の幹事担当パートは、後日別途お知らせします。

★今月の担当幹事★

- 2月: クラリネット
- 3月: サキソホン



《編集後記》

シニア便りの第10号、いかがでしたか? おかげさまで、節目の発行を迎えることができました。編集にあたり、何か特別な企画をと気負った時期もありましたが、終わってみればほいとも通りの内容ではなかったかと思えます。やはり、奇をてらわれないのが最良といったところでしょうか?

半年前のことになりましたが、パークゴルフ大会の開催結果を林さんから寄せていただきました。シニアの年中行事の一つとして、定着しつつあるようですね。

このところ、シニアは少しずつ新入団員に恵まれてきていますが、今回はアルトサクスの内田さんから、深い思いのこもった文章をいただきました。これからは、「音楽の話でビールを飲む楽しみ」を共有していきましょう!

休団から復帰の池田さんからも、文章をいただきました。文中にあるとおり、筆者とは以前の団体で共に活動していたことがありましたので、シニアで再会したときは本当に驚きました。あらためて、世間の狭さを実感!

(編、首長)